

201119044A

別紙1

厚生労働科学研究費補助金

がん臨床研究事業

未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性および
安全性に関する多施設共同研究

平成23年度 総括研究報告書

研究代表者 小野 裕之

平成24(2012)年 5月

目 次

I. 総括研究報告	
未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性及び安全性に関する 多施設共同研究 小野 裕之 1
II. 研究成果の刊行に関する一覧表 3
III. 研究成果の刊行物・別刷	(別添)

厚生労働科学研究費補助金 (がん臨床研究事業)

平成23年度 総括 研究報告書

研究課題名 未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性および安全性に関する
多施設共同研究

研究代表者 小野 裕之 施設名 静岡県立静岡がんセンター 副院長・部長

研究要旨

本研究は、外科的切除が標準治療である、腫瘍径 2cm 以下かつ潰瘍(-)の未分化型粘膜内癌に対して、内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) を行うことにより、外科的切除と同等の治療成績が得られる低侵襲治療の開発を目的とする。

未分化型胃癌であっても、2cm 以下かつ潰瘍(-)であればリンパ節転移の危険性は低く、ESD により確実に病変を一括切除し、完全切除の有無を病理学的に確認することによって、内視鏡的な治療切除が可能である。本研究の結果、予想通りに ESD 後の再発がほとんどなければ、将来的には未分化型癌にも ESD の適応を拡大することが可能となり、それによって胃を温存する治療が可能となり、胃切除によって起こりうるダンピング症候群、貧血、通過障害などの術後合併症を防止でき、胃がんに対する新たな低侵襲治療が確立する。

この目的を達成するため、主要エンドポイントを「5年生存割合」、副次エンドポイントを、「全生存期間」、「無再発生存期間」、「5年胃温存割合」、「病変一括切除割合」、「有害事象発生割合」、「重篤な有害事象発生割合」とした多施設共同第 II 相試験を行う。

研究分担者

小野 裕之	静岡県立静岡がんセンター 副院長・部長	堀 伸一郎	四国がんセンター 医長
武藤 学	京都大学医学部研究科 准教授	粉川 敦史	横浜市立大学附属市民総合医療センター 准教授
小田 一郎	国立がん研究センター中央病院 医長	本橋 修	神奈川県立がんセンター 部長
大野 康寛	国立がん研究センター東病院 医員		
飯石 浩康	大阪府立成人病センター 診療局長	A. 研究目的	
田邊 聡	北里大学医学部 准教授	本研究は、外科的切除が標準治療である、腫瘍径 2cm 以下かつ潰瘍(-)の未分化型粘膜内癌に対して、内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) を行うことにより、外科的切除と同等の治療成績が得られる低侵襲治療の開発を目的とする。	
貝瀬 満	虎の門病院 部長	国立がん研究センター中央病院とがん研有明病院における外科切除例の検討から、上記の対象病変のリンパ節転移の頻度は 0% (0/310 : 95%信頼区間 0~0.9%) であることが報告され、この上限 0.9%は通常の外科学切除における手術関連死亡 1%よりも低いことから、内視鏡的切除を外科学切除に替わる新しい標準治療の候補として臨床試験を行うことが妥当であると考えられるに至った。	
西崎 朗	兵庫県立がんセンター 部長		
丹羽 康正	愛知県がんセンター中央病院 副院長・部長		
森田 圭紀	神戸大学医学部 助教		
土山 寿志	石川県立中央病院 診療部長		
小山 恒男	佐久総合病院 部長		

B. 研究方法

目的を達成するために多施設共同第 II 相試験を行う。

本試験の主要エンドポイントは「5年生存割合」、副次エンドポイントは、「全生存期間」、「無再発生存期間」、「5年胃温存割合」、「病変一括切除割合」、「有害事象発生割合」、「重篤な有害事象発生割合」である。

下記条件を満たす症例を対象とする。

- 1) 単発の胃癌である。
- 2) 治療前内視鏡下生検にて、組織学的に未分化型癌 (por, sig) を含むことが確認されている。
- 3) 深達度が内視鏡的に T1a(M) (粘膜内癌) と診断される。
- 4) 内視鏡検査にて、腫瘍の最大径が 2cm 以下。
- 5) 潰瘍所見を有さない。
- 6) ESD にて一括切除可能と判断される。

(倫理面への配慮)

本研究に関わるすべての研究者は、ヘルシンキ宣言に従って本研究を実施し、参加患者の人権保護に努める。また、がん臨床試験のための公的研究費によりサポートされた研究班の集合体である JCOG により、研究の第三者的監視を受け、科学性と倫理性の確保に努める。

C. 研究結果

2010年12月24日にJCOGプロトコール審査委員会承認を得た。参加施設の審査委員会の承認後、2011年2月1日より試験登録を開始した。2012年3月26日時点での総登録数は152例であり、予定集積を上回るペースで登録が行われている。全国に広がる試験参加施設を擁し、研究を遂行中である。

D. 考察

本研究の結果、予想通りに ESD 後の再発がほとんどなければ、将来的には未分化型癌にも ESD の適応を拡大することが可能となり、それによって胃を温存する治療が可能となり、胃切除によって起こりうるダンピング症候群、貧血、通過障害などの術後合併症を防止でき、胃癌に対する新たな低侵襲治療が確立する。

対象となる未分化型胃癌に対して ESD を施行し、追跡するという、prospective study はまだ行われておらず、本研究の結果により、ガイドラインの変更等、臨床に大きく寄与することとなる。

E. 結論

目的を達成するため、症例集積を進めていく。

F. 健康危険情報

現時点で、健康危険情報は無い。

G. 研究発表

1. 論文発表

本試験は現在進行中であり、本試験に関する論文発表は行っていない。

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許の出願

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

研究成果の刊行に関する一覧表【平成23年度】
(研究班に関する業績)

書籍：外国語

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Ono H., Seewald S., Soehendr a N.	Endoscopic Resection, Abl ation, and Dissection		Gastroente rological Endoscopy, second edition.	Thieme	Stuttgart-N ew York	2010	

書籍：日本語

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山本佳宣、 西崎 朗	肛門コンジ ローマ	武藤学	NBI アトラス	南江堂	東京	2011年	250-251
布袋屋修	早期消化管癌 に対する内視 鏡的粘膜下層 剥離術におけ る偶発症とそ の対策	赤松泰次	消化器 Book シ ーズ 内視鏡診療の 安全管理	羊土社	東京	2011	54-61
北 村 陽 子・ <u>小山恒 男</u>	2. Modality 別の存在診断 3) 拡大内視鏡 NBI	小山恒男	早期胃癌 内 視 鏡 診 断 の Modality と Strategy	日本メデ ィカルセ ンター	東京	2011	62-70
友 利 彰 寿・ <u>小山恒 男</u>	3. 肉眼型別の 特徴(深達度、 組織型、鑑別 診断) 0-II c型	小山恒男	早期胃癌 内 視 鏡 診 断 の Modality と Strategy	日本メデ ィカルセ ンター	東京	2011	94-102

研究成果の刊行に関する一覧表【平成23年度】
(研究班に関する業績)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
石井英治・ <u>小山恒男</u>	3. 肉眼型別の特徴(深達度、組織型、鑑別診断) 混合型	小山恒男	早期胃癌 内視鏡診断のModalityとStrategy	日本メディカルセンター	東京	2011	110-20
高橋亜紀子	4. Modality別の側方進展範囲診断 拡大内視鏡	小山恒男	早期胃癌 内視鏡診断のModalityとStrategy	日本メディカルセンター	東京	2011	141-48
<u>小山恒男</u>	6. Modality別の組織型、粘液形質診断 NBI 拡大	小山恒男	早期胃癌 内視鏡診断のModalityとStrategy	日本メディカルセンター	東京	2011	211-22
著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
岸 埜 高明・ <u>小山恒男</u>	7. 早期胃癌鑑別診断 1) ポリープ	小山恒男	早期胃癌 内視鏡診断のModalityとStrategy	日本メディカルセンター	東京	2011	231-37
友利彰寿・ <u>小山恒男</u>	7. 早期胃癌鑑別診断 3) 胃潰瘍	小山恒男	早期胃癌 内視鏡診断のModalityとStrategy	日本メディカルセンター	東京	2011	245-52

研究成果の刊行に関する一覧表【平成23年度】
(研究班に関する業績)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
篠原知明	7. 早期胃癌鑑別診断 4) びらん等の陥凹病変	小山恒男	早期胃癌 内視鏡診断のModality と Strategy	日本メディカルセンター	東京	2011	253-60
小山恒男	8. 生検診断	小山恒男	早期胃癌 内視鏡診断のModality と Strategy	日本メディカルセンター	東京	2011	297-304
小山恒男	Ⅲ. 疾患別内視鏡 NBI による Barrett 食道表在癌の内視鏡像	田尻久雄	内視鏡診断のプロセスと疾患別内視鏡像	日本メディカルセンター	東京	2011	362-367

研究成果の刊行に関する一覧表【平成23年度】
(研究班に関する業績)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
小山恒男	食道腺癌の内視鏡診断	桑野博之	早期食道癌 そのコンセンサスと最前線	中外医学社	東京	2012	35-47

雑誌：外国語

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Moriya H, Ohbu M, Kobayashi N, Tanabe S, Katada N, Futawatari N, Sakuramoto S, Kikuchi S, Okayasu I, Watanabe M.	Lymphatic tumor emboli detected by D2-40 immunostaining can more accurately predict lymph-node metastasis.	World J Surg.	35(9)	2031-7	
Tanabe S, Koizumi W, Ishido K, Katada C, Tahara K, Ae T, Naruke A, Sato A	Basic studies of vascular images as seen with indocyanine green-guided ray electronic endoscopy as compared with microangiography	The Kitasato Medical Journal	41(1)	63-68	
Mitomi H, Fukui N, Kishimoto I, Tanabe S, Kikuchi S, Saito T, Hayashi T, Yao T.	Role for p16(INK4a) in progression of gastrointestinal stromal tumors of the stomach: alteration of p16(INK4a) network members.	Hum Pathol.	42(10)	1505-13	

研究成果の刊行に関する一覧表【平成23年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Higuchi K, Tanabe S, Azuma M, Sasaki T, Ishido K, Koizumi W.	Future perspectives for the development of chemotherapy for advanced gastric cancer: Japanese and global status.	Pathobiology.	78(6)	334-42	
Matsuba H, Katada C, Masaki T, Nakayama M, Okamoto T, Hanaoka N, Tanabe S, Koizumi W, Okamoto M, Muto M.	Diagnosis of the extent of advanced oropharyngeal and hypopharyngeal cancers by narrow band imaging with magnifying endoscopy.	Laryngoscope.	121(4)	753-9	
Koizumi W, Nakayama N, Tanabe S, Sasaki T, Higuchi K, Nishimura K, Takagi S, Azuma M, Ae T, Ishido K, Nakatani K, Naruke A, Katada C.	A multicenter phase II study of combined chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and S-1 in patients with unresectable or recurrent gastric cancer (KDOG 0601).	Cancer Chemother Pharmacol.	69(2)	407-13.	

研究成果の刊行に関する一覧表【平成23年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hidaka H, Nakazawa T, Wang G, Kokubu S, Minamino T, Takada J, Tanaka Y, Okuwaki Y, Watanabe M, Tanabe S, Shibuya A, Koizumi W.	Long-term administration of PPI reduces treatment failures after esophageal variceal band ligation: a randomized, controlled trial.	J Gastroenterol.	47(2)	118-26	
Yano T, Muto M, et al	Photodynamic therapy as salvage treatment for local failure after chemoradiotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma: a phase II study.	Int J Cancer			In press
Tatematsu N, Ezoe Y, Tanaka E, Muto M, et al	Impact of neoadjuvant chemotherapy on physical fitness, physical activity and health-related quality of life of patients with resectable esophageal cancer.	Am J Clin Oncol			In press
Muto M.	Endoscopic diagnosis for superficial neoplasia at the head and neck regions.	J Cancer Prev			In press
Watanabe T, Muto M, et al	A case of long-term survival of metastatic small round cell tumor treated with multimodal therapy.	Oncology Letters.	3(1)	30-4	2012
Horimatsu T, Muto M, et al	Pharmacokinetics of oxaliplatin in a hemodialytic patient treated with modified FOLFOX-6 plus bevacizumab therapy.	Cancer Chemother Pharmacol	68(1)	263-6	2011

研究成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Asada Y, <u>Muto M</u> , et al	Successful Endoscopic Submucosal Dissection for Esophageal Squamous Cell Carcinoma together with a Lipoma.	Hepato-Gastroenterology	58 (110-111)	1595-7	2011
<u>Muto M</u> , et al	Long-term outcome of trans-oral organ-preserving pharyngeal endoscopic resection for superficial pharyngeal cancer.	Gastrointest Endosc	74(3)	477-84	2011
Nakanishi Y, <u>Muto M</u> , et al	An unusual cause of dysphagia after endoscopic resection of an early esophageal cancer.	Endoscopy	43	E156-7	2011
Ezoe Y, <u>Muto M</u> , et al	Magnifying Narrowband Imaging Is More Accurate than Conventional White-Light Imaging in Diagnosis of Gastric Mucosal Cancer.	Gastroenterology	141(6)	2017-25	2011
Ezoe Y, <u>Muto M</u> , et al	Epidermoid metaplasia of the esophagus: endoscopic feature and differential diagnosis.	Hepato-Gastroenterology	58 (107-108)	809-13	2011
<u>Muto M</u> , et al	Differences of image enhancement in image-enhanced endoscopy: narrow band imaging versus flexible spectral imaging color enhancement.	J Gastroenterol	46(8)	998-1002	2011
<u>Muto M</u> , et al	Macroscopic Estimation of Submucosal Invasion in the Esophagus	Tec Gastrointest Endosc	13(1)	8-13	2011
Yano T, <u>Muto M</u> , et al	Long-term results of salvage photodynamic therapy for patients with local failure after chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma	Endoscopy	43(8)	657-63	2011

研究成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Aoyagi K, <u>Muto M</u> , et al	Artificially induced epithelial mesenchymal transition in surgical subjects: its implications in clinical and basic cancer research	PLos ONE	6(4)	e18196	2011
Matsuba H, <u>Muto M</u> , et al	Diagnosis of the extent of advanced oropharyngeal and hypopharyngeal cancers by narrow band imaging with magnifying endoscopy	Laryngoscope	121(4)	753-9	2011
Ueda K, <u>Muto M</u> , et al	A case of esophageal ulcer caused by alendronate sodium tablets	Gastrointest Endosc	73(5)	1037-8	2011
Ezoe Y, <u>Muto M</u> , et al	Efficacy of preventive endoscopic balloon dilation for esophageal stricture after endoscopic resection	J Clin Gastroenterol	45(3)	222-227	2011
Akitake R, <u>Muto M</u> , et al	Early detection of 5-FU-induced acute leukoencephalopathy on diffusion-weighted MRI	Jpn J Clin Oncol	41(1)	121-4	2011
Chia-Hung Tu <u>Muto M</u> , et al	Submucosal tumor appearance is a useful endoscopic predictor of early primary-site recurrence after definitive chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma	Dis Esophagus	24(4)	274-8	2011
Kinjo T, Taniguchi H, Kushima R, Sekine S, <u>Oda I</u> , et al.	Histologic and Immunohistochemical Analyses of α -Fetoprotein-Producing Cancer of the Stomach.	Am J Surg Pathol	36	56-65	2012

研究成果の刊行に関する一覧表【平成23年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Matsumoto K, Arao T, Hamaguchi T, Shimada Y, Kato K, <u>Oda I</u> , et al.	FGFR2 gene amplification and clinicopathological features in gastric cancer.	Br J Cancer.	106(4)	727-32	2012
Oya H, Gotoda T, Kinjo T, Suzuki H, Yoshinaga S, Taniguchi H, Kushima R, Saka M, Katai H, <u>Oda I</u> .	A case of lymph node metastasis following a curative endoscopic submucosal dissection of an early gastric cancer.	Gastric Cancer.	Nov 15. [Epub ahead of print]		2011
<u>Oda I</u> , Suzuki H, Yoshinaga S.	Macroscopic Estimation of Submucosal Invasion - Stomach.	Techniques in Gastrointestinal Endoscopy.	13	14-23.	2011
Goto O, Fujishiro M, <u>Oda I</u> , Kakushima N, Yamamoto Y, Tsuji Y, Ohata K, Fujiwara T, Fujiwara J, Ishii N, Yokoi C, Miyamoto S, Itoh T, Morishita S, Gotoda T, Koike K.	A Multicenter Survey of the Management After Gastric Endoscopic Submucosal Dissection Related to Postoperative Bleeding	Dig Dis Sci.	57(2)	435-9	2012

研究成果の刊行に関する一覧表【平成23年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Isobe Y, Nashimoto A, Akazawa K, Oda I, Hayashi K, Miyashiro I, Katai H, Tsujiitani S, Kodera Y, Seto Y, Kaminishi M.	Gastric cancer treatment in Japan: 2008 annual report of the JGCA nationwide registry.	Gastric Cancer.	14(4)	301-16	2011
Ezoe Y, Muto M, Uedo N, Doyama H, Yao K, Oda I, Kaneko K, Kawahara Y, Yokoi C, Sugiura Y, Ishikawa H, Takeuchi Y, Kaneko Y, Saito Y.	Magnifying Narrowband Imaging Is More Accurate Than Conventional White-Light Imaging in Diagnosis of Gastric Mucosal Cancer.	Gastroenterology.	141	2017-2025	2011
Tada K, Oda I, Yokoi C et al.	Pilot study on clinical effectiveness of autofluorescence imaging for early gastric cancer diagnosis by less experienced endoscopists.	Diagnostic and Therapeutic Endoscopy 2011	419136		2011
Ono S, Fujishiro M, Kanzaki H, Uedo N, Yokoi C, Akiyama J, Sugawara M, Oda I, et al.	Conflicting clinical environment about the management of antithrombotic agents during the periendoscopic period in Japan.	Gastroenterol Hepatol.	26(9)	1434-40	2011

研究成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yoshinaga S, Suzuki H, <u>Oda I</u> , Saito Y.	Role of endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration (EUS-FNA) for diagnosis of solid pancreatic masses.	Dig Endosc.	23 Suppl 1	29-33	2011
Kusano C, Iwasaki M, Kaltenbach T, Conlin A, <u>Oda I</u> , Gotoda T.	Should Elderly Patients Undergo Additional Surgery After Non-Curative Endoscopic Resection for Early Gastric Cancer? Long-Term Comparative Outcomes.	Am J Gastroenterol.	106(6)	1064-9.	2011
<u>Oda I</u> , Abe S, Kusano C, et al.	Correlation between endoscopic macroscopic type and invasion depth for early esophagogastric junction adenocarcinomas.	Gastric Cancer	14(1)	22-7	2011
Abe S, <u>Oda I</u> , Shimazu T, et al.	Depth predicting score for differentiated early gastric cancer	Gastric Cancer	14(1)	35-40	2011

研究成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Nonaka S, <u>Oda I</u> , Nakaya T et al.	Clinical Impact of a Strategy Involving Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancer—Determining the optimal pathway	Gastric Cancer	14(1)	56-62	2011
Mariko Man-I, <u>Yoshinori Morita</u> , Tsuyoshi Fujita, James E. East, Shinwa Tanaka, Chika Wakahara, Masaru Yoshida, Takanobu Hayakumo, Hirom Kutsumi, Hideto Inokuchi, Takashi Toyonaga, Takeshi Azuma	Endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasm in patients with co-morbidities categorized according to the ASA Physical Status Classification	Gastric Cancer	Published online	11	2012/3

研究成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shinwa Tanaka, <u>Yoshinori</u> Morita, Tsuyoshi Fujita, Hiroshi Yokozaki, Daisuke Obata, Shoko Fujiwara, Chika Wakahara, Atsuhiko Masuda, Maki Sugimoto, Tsuyoshi Sanuki, Masaru Yoshida, Takashi Toyonaga, Hiromu Kutsumi, Takeshi Azuma	CLINICOPATHOLOGICAL CHARACTERISTICS OF ABNORMAL MICRO-LESIONS AT THE ORO-HYPOPHARYNX DETECTED BY A MAGNIFYING NARROW BAND IMAGING SYSTEM	Digestive Endoscopy	Vol. 24	10	2012/3/2
Nagata S, <u>Iishi H.</u> et al.	Influential factors in procedure time of endoscopic submucosal dissection for gastric cancer with fibrotic change	Dig Endosc	23	296-301	2011

研究成果の刊行に関する一覧表【平成23年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hirasawa K, Kokawa A, Oka H, Yahara S, Sasaki T, Nozawa A, Morimoto M, Numata K, Taguri M, Morita S, Maeda S, Tanaka K.	Risk assessment chart for curability of early gastric cancer with endoscopic submucosal dissection.	Gastrointestinal Endoscopy	74(6)	1268-1275	2011
貝瀬 満	The combination of serum trefoil factor 3 and pepsinogen testing is a valid non-endoscopic biomarker for predicting the presence of gastric cancer—a new marker for gastric cancer risk.	Journal of Gastroenterology Springer	46 巻-6	736-745	2011
布袋屋 修	Endoscopic submucosal dissection for submucosalinvasive gastric cancer and curability criteria	Digestive endoscopy 日本消化器内視鏡学会	23 巻-1	30-36	2011
飯塚 敏郎	Clinical advantage of endoscopic submucosal dissection over endoscopic mucosal resection for early mesopharyngeal and hypopharyngeal cancers	Endoscopy Tieme	43 巻-10	839-43	2011
Tsuneo Oyama	Endoscopic submucosal dissection using a hook knife	Techniques in GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY	13	70-73	2011

研究成果の刊行に関する一覧表【平成 23 年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Abe N, Gotoda T, Hirasawa T, Hoteya S, Ishido K, Ida Y, Imaeda H, Ishii E, Kokawa A, Kusano C, Maehata T, Ono S, Takeuchi H, Sugiyama M, Takahashi S.	Multicenter study of the long-term outcomes of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in patients 80 years of age or older.	<u>Gastric Cancer</u>	15(1)	70-75	2012
<u>Osamu Motohashi</u>	Two-point fixed endoscopic submucosal dissection in rectal tumor (with video)	GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY	74	1132-6	2011
Matsubayashi H, Sawai H, Kimura H, Yamaguchi Y, Tanaka M, Kakushima N, Takizawa K, Kadooka M, Takao T, Hebbar S, <u>Ono H.</u>	Characteristics of autoimmune pancreatitis based on serum IgG4 level.	Dig Liver Dis.			2011
Matsubayashi H, Maeda A, Kanemoto H, Uesaka K, Yamazaki K, Hironaka S, Miyagi Y, Ikehara H, <u>Ono H,</u> Klein A, Goggins M.	Risk Factors of Familial Pancreatic Cancer in Japan: Current Smoking and Recent Onset of Diabetes.	Pancreas.			2011

研究成果の刊行に関する一覧表【平成23年度】
(研究班に関する業績)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sawai H, Matsubayashi H, Sasaki K, Tanaka M, Kakushima N, Takizawa K, Yamaguchi Y, <u>Ono H.</u>	Acasesof sclerosing cholangitis without pancreatic involvement thought to be associated with autoimmunity.	Intern Med.	50(5)	433-8	2011
Kimura H, Matsubayashi H, Fukutomi A, Asakura K, Sasaki K, Yamaguchi Y, <u>Ono H.</u>	Lymphnode metastasis diagnosed by EUS-FNA in four cases with hepatocellular carcinoma.	ClinRes Hepatol Gastroenterol.	35(3)	237-40	2011
Matsubayashi H, Ooka S, Kimura H, Sawai H, Kakushima N, Tanaka M, Goggins M, <u>Ono H.</u>	Proximally migrated pancreatic stent successfully removed using needle-knife and forceps: Complication after precut papillotomy assisted by pancreatic stenting.	ClinRes Hepatol Gastroenterol.	35(4)	321-4	2011